

2014 年度海外研修旅行「フィリピン・ミンダナオ国際大学（MKD）との交流・研修」を行いました

8月18日（月）

中部国際空港より出国、マニラ経由ダバオへ

学生12名、教職員6名の参加者は中部国際空港より出国。マニラ経由ダバオへ。



夕食はフィリピン料理レストランにて、フィリピン名物の鶏の串焼きを堪能しました。その他、ミドリイガイ（ムール貝のような貝）のニンニク焼きに挑戦した人もいました。フィリピンのどのレストランでも出てくるカラマンシーというかぼすに似たフルーツについてや、フィリピンは水ではなく甘いお茶が最初に出てくることなど、フィリピンの食文化を知りました。



8月19日(火)

ミンダナオ国際大学(MKD)社会福祉学科との介護授業

ホテルからミンダナオ国際大学まで歩いて行きました。



大学までの道のり



乗り合いタクシー

ミンダナオ国際大学正門にあったウェルカムメッセージの前で記念撮影。



ミンダナオ大学正門前にて記念撮影

特別講師として本学社会福祉学科の野村敬子先生が講義「日本の介護技術」を行い、ミンダナオ国際大学社会福祉学科の学生さん達と一緒に介護の授業に参加しました。



利用者が寝たままでどのようにシーツを手早く綺麗に交換するか教授する本学野村敬子先生

野村先生に授業をお任せして、他の参加者は国際学科日本語専攻の書道の授業に参加しました。それぞれが好きな日本語を書いて、なぜ好きなのかを日本語で発表しました。



その後、浴衣に着替え、介護の授業に合流しました。ミンダナオ国際大学の学生さんに着付け体験をしてもらい、一緒に盆踊りを楽しみました。



みんなで盆踊り



浴衣の着付け



ミンダナオ国際大学の学生さんと記念撮影

「日本の介護講座技術」修了式では、本学社会福祉学科の吉川先生と野村先生に感謝状が贈呈されました。



野村先生（写真右端）



吉川先生（写真右端）

8月20日(水)

幼稚園、小学校、老人ホームを訪問

ミンダナオ国際大学に隣接する日系人会国際学校の幼稚園を訪問し、本学幼児教育学科の沖中秀子先生が絵本の読み聞かせを、幼児教育学科の学生さんが日本の遊びを紹介しました。



その後、最貧層の子どもたちに無償で教育を提供しているトリニタリアン女子修道会立のアナウィーム小学校を訪問しました。シスターからトリニタリアン女子修道会についてや、フィリピンの貧困層の子どもたちについてのお話を伺った後、教室にお邪魔して日本の遊びを紹介しました。



アナウィーム小学校



アナウィーム小学校の小学生と交流

昼食はスパゲッティが評判のフィリピンの人気ハンバーガーチェーンにて。



午後は、ダバオにある私立の老人ホーム「ヴェロニカのヴェール」を訪問しました。施設内を見学しながらお話をうかがい、フィリピンの老年介護事情や、介護士の仕事や待遇の違いについて等を学びました。



老人ホーム「ヴェロニカのヴェール」



お年寄りとの交流

施設訪問の帰り道、屋台で売っていたまるごとココナッツのジュースに挑戦しました。



8月21日(木)

エンジェルズ・コーブへ

ホテルから車でサンタ・アナ港へ向かい、その後、船でエンジェルズ・コーブへ移動。10月から本学に短期留学をするミンダナオ国際大学の学生さん2人も一緒に、サンゴ礁でのシュノーケリング、BBQの昼食を楽しみました。



8月22日(金)

ダバオからマニラ経由帰国、中部国際空港にて解散式

ダバオからマニラ経由で中部国際空港へ無事到着し、研修を終えました。